

1-23A・1-23B班 合同班会合を実施しました。

平成25年3月30日(土)10:00~12:00 中央会館ホール

参加者 24名、役員(若本、望月)

西宮班長さん、関澤班長さんのご挨拶で始まりまして。最初に自己紹介がありました。今回の班会合では、ほとんどの班メンバーが参加し、初めてお互いを知るきっかけになりました。



<24名も参加した合同班会合>

1. 集団資源回収事業について・・・若本理事より
先日行われた説明会で使われた資料をもとに集団資源回収事業の説明がありました。
・集団資源回収報奨金は、防犯灯LED化に使うってほしいというのが班の意見でした。
・TV、パソコン等の家電の無料回収はどうなるのでしょうか。
⇒5月の総会で説明してから、集団資源回収の指定回収業者のエコ・クルーが実施する予定です。詳細は回覧等でお知らせします。(若本)

2. 防犯灯LED化事業について・・・若本理事より
先日行われた説明会で使われた資料をもとに防犯灯LED化事業の説明がありました。
・LED灯の修理代としてセンサー部分は7,8年毎に交換が必要ではないか。
(⇒LED防犯灯のセンサーは内蔵型なので15年間はほとんど交換する必要がないと判断しています。(宮下理事))
・門灯についても自治会として一括してLED化のあっせんをしてほしい。
・門灯をつけないのは、お金の問題より、省エネを目的としている。
⇒省エネで問題になるのは昼間のピーク時間帯であるので、防犯上は夜の12時までではつけていた
だけしたい。(若本)
・防犯灯の数は? 市と自治会が管理している防犯灯は?
⇒自治会で管理している防犯灯は、蛍光灯338基、LED灯40基。市は松が丘中央通りやバス通りの防犯灯を管理している。自治会はそれ以外の場所の防犯灯を管理している。(若本)
・防犯灯のLED化は街が明るくなり楽しみだ。

3. その他
・防災行政無線屋外スピーカーの音が大きく、うるさい(スピーカーから離れた場所では、逆に音が小さくて聞こえないという意見もあった)。音楽も長すぎ、センスがない。曲に関しては住民の意見を取り入れてほしい。
・八国山緑地の埼玉県側の下草の手入れがなされていない(東京都は手入れをしているのであるが)。
・個人の家の樹木の枝が道路にはみ出して、防犯灯や標識を見えなくしている。
・道路に多くの亀裂が出ている。一度、調査してほしい。
・中央会館前の道路で、冬場凍結して車が滑ったことがあった。非常に危険であるので、注意の標識をつけてほしい。
・自転車が集団で飛ばしていることがある。非常に危険である。
⇒見かけたら警察に連絡するようにしてください。(若本)
・中央会館近くの道沿いの家ではベニカナメが病気になり、黒い斑点が葉中に広がっている。何かいい対策はありませんか。

最後に来年度の班長さんの挨拶がありました。

西宮班長さん、関澤班長さん準備等お疲れ様でした。

写真・記録作成(若本)

コメント

2.自治会実施報告：平成24年度3月班長会報告

投稿者：totoro2 投稿日時：2013/03/29 (269 ヒット)

平成25年3月10日に開催されました平成24年度3月班長会の報告を「保存版資料」「班長会報告」にアップしました。

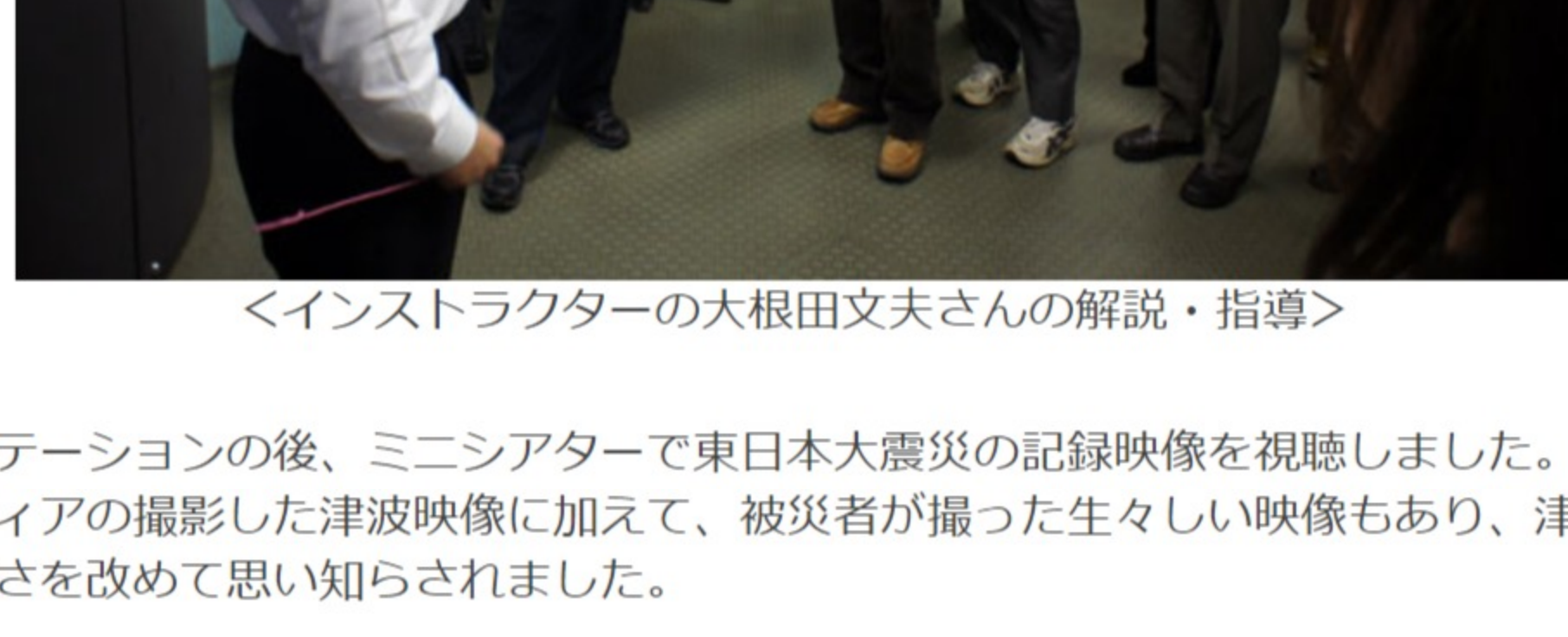
コメント

2.自治会実施報告：立川防災館見学・体験会の報告

投稿者：totoro2 投稿日時：2013/03/01 (438 ヒット)

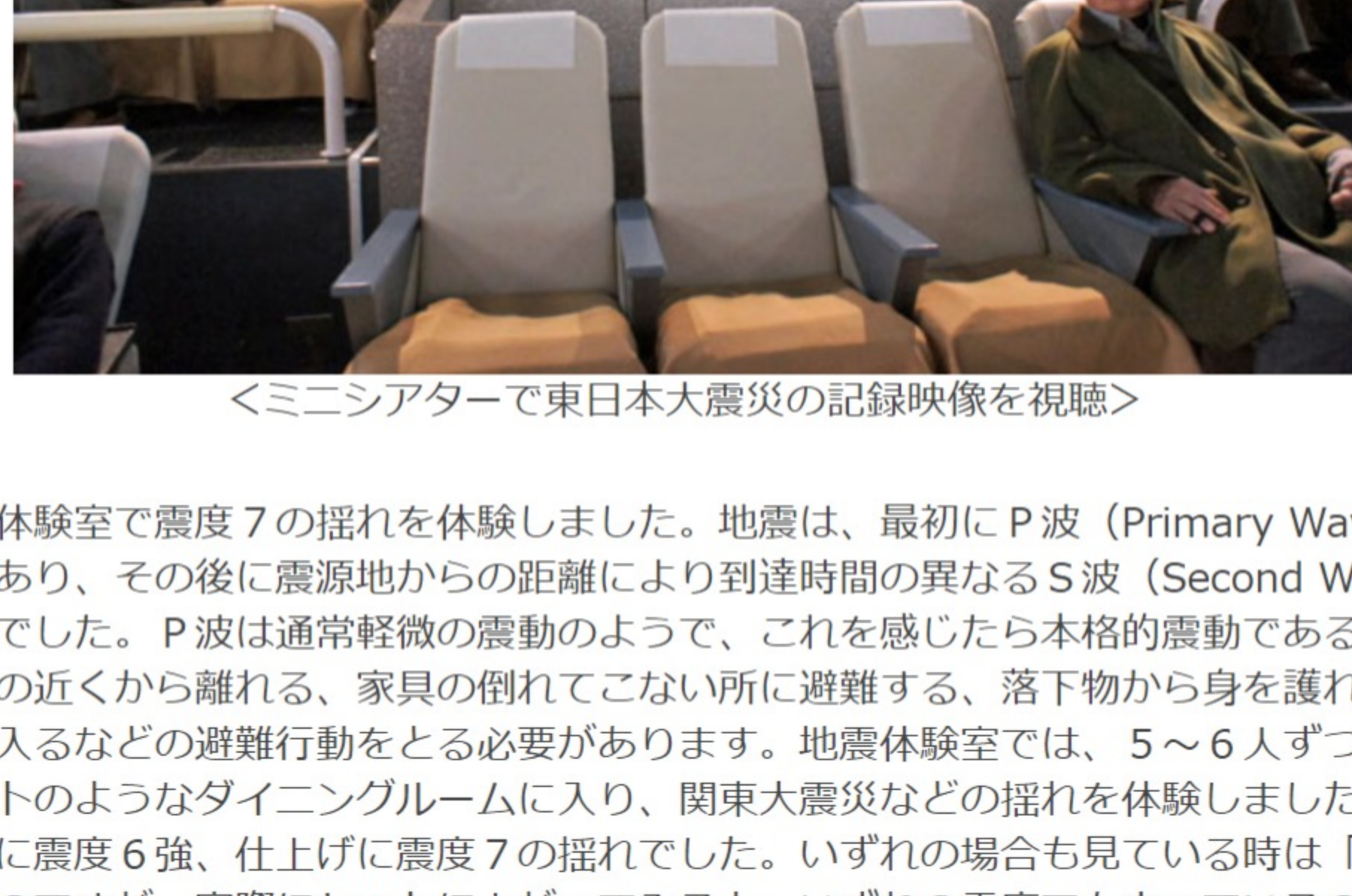
2月22日(金)、東京消防庁立川防災館の見学・体験会が催され、28名の皆さんが参加されました。

インストラクターの大根田文夫さんが体験の解説・指導を担当してくださいました。松が丘2丁目の齋藤さん(元東京消防庁の消防官)が事前に松が丘自治会の見学・体験について伝えてくださったこともあり、大根田さんには特別熱心に案内・指導をしていただいたように思いました。



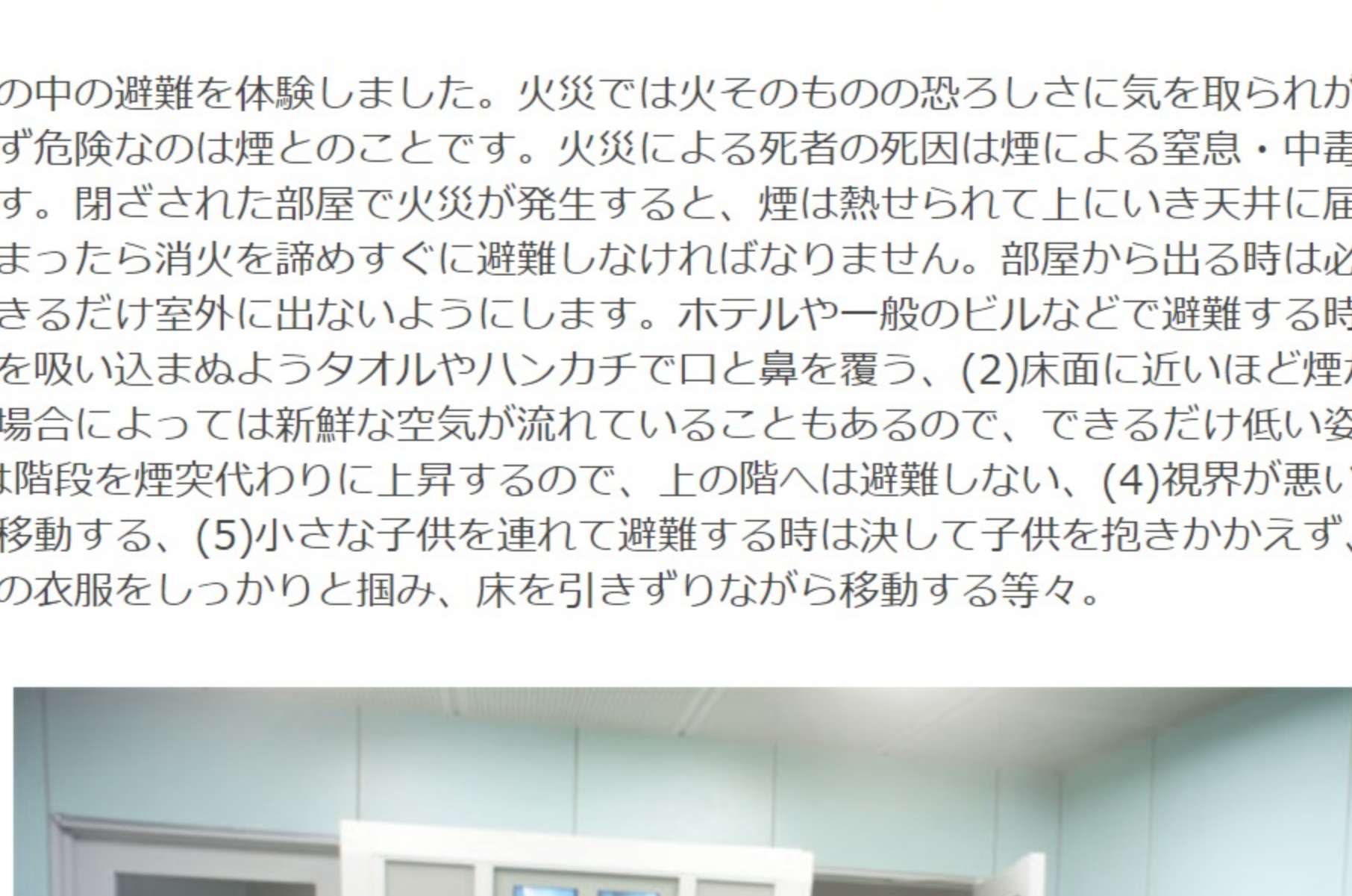
<インストラクターの大根田文夫さんの解説・指導>

オリエンテーションの後、ミニシアターで東日本大震災の記録映像を視聴しました。テレビなどのマスメディアの撮影した津波映像に加えて、被災者が撮った生々しい映像もあり、津波のすさまじさ、悲慘さを改めて思い知らされました。



<ミニシアターで東日本大震災の記録映像を視聴>

次に地震体験室で震度7の揺れを体験しました。地震は、最初にP波(Primary Wave)という初期震動があり、その後震源地からの距離により到達時間の異なるS波(Second Wave)があることでした。P波は通常軽微の震動のようで、これを感じたら本格的震動であるS波に備えて、ガラスの近くから離れる、家具の倒れてこない所に避難する、落下物から身を護れる机・テーブルの下に入るなどの避難行動をとる必要があります。地震体験室では、5~6人ずつテレビスタジオのセットのようなダイニングルームに入り、関東大震災などの揺れを体験しました。最初に震度6弱、次に震度6強、仕上げに震度7の揺れでした。いずれの場合も見ている時は「あんな程度か」と思うのですが、実際にセットに上がってみると、いずれの震度でも立っているのは難しく、テーブルの下に入り、足をしっかりと握って震動の納まるのを待つのみでした。実際に自分の家でこのような地震があったら、家具は全て倒れ、ガラスは割れて飛び散り、家具の上に置いてあるものは全て落下してしまうようにします。テーブルの下に避難して割れつかむ時は、できるだけ低い姿勢で移動するのが良いそうです。下を掴んでいるとテーブルが飛び跳ねたときに手が滑って脚の下に入り込み、骨折してしまうことがあるそうです。想像以上にすさまじい揺れに驚きました。



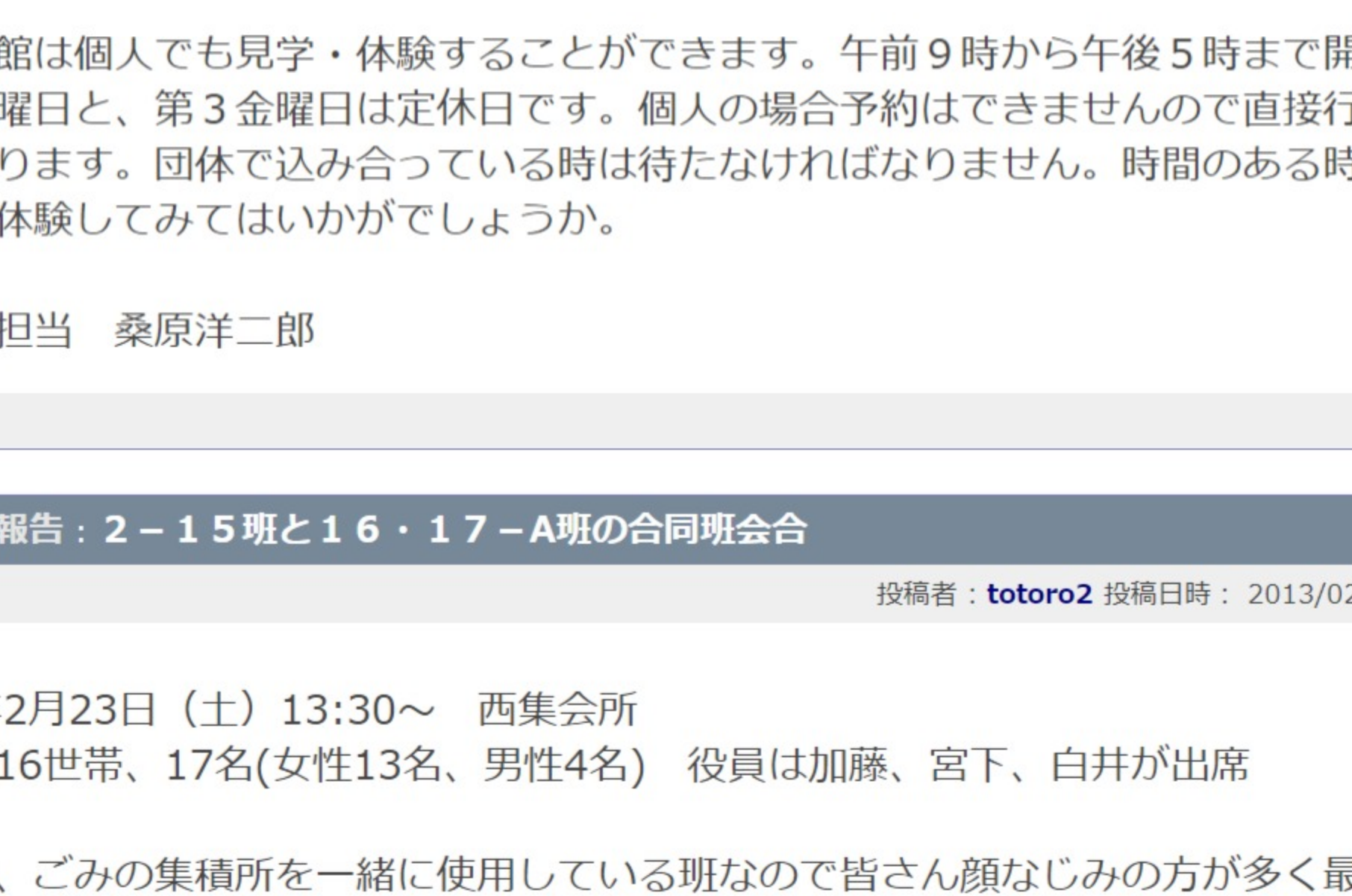
<地震体験室で震度7の揺れを体験>

次に、煙の中の避難を体験しました。火災では火そのものの恐ろしさに気を取られがちですが、それに劣らず危険なのは煙とことです。火災による死者の死因は煙による窒息・中毒が圧倒的に多いそうです。閉ざされた部屋で火災が発生すると、煙は熱せられて上にいき天井に届きます。こうなったら消火を諦めすぐに避難しなければなりません。部屋から出る時は必ずドアを閉め、煙ができれば室外に出ないようにします。ホテルや一般のビルなどで避難する時は、(1)できるだけ煙を吸い込まぬようタオルやハンカチで口と鼻を覆う、(2)床面に近いほど煙が薄くて視界も利き、場合によっては新鮮な空気が流れていることもあるので、できるだけ低い姿勢で移動する、(3)煙は階段を煙突代わりに上昇するので、上の階へは避難しない、(4)視界が悪い時は壁にさわったりは移動する、(5)小さな子供を連れた避難する時は決して子供を抱きかかえず、ベルトや腰のあたりの衣服をしっかりと掴み、床を引きずりながら移動する等々。



<煙の中の避難を体験>

最後に水消火器による消火訓練を体験しました。これは自治会でも毎年行っていますので身近な訓練でしたが、映像の「火元」に向けて放水するところがリアルでした。水で消火する場合は、粉末消火器と違い、燃えているもの自体に狙いを定めて放水する、てんぷら鍋の火災では鍋の上20~30cmを目掛けて放水する等の指示があり、実感を持って実行できました。また、粉末消火器の場合、粉末が酸化する効果があるので、火元が完全に消えているか確認する必要があること等を学びました。



<水消火器による消火訓練>

立川防災館は個人でも見学・体験することができます。午前9時から午後5時まで開館しています。毎週木曜日と、第3金曜日は定休日です。個人の場合予約はできませんので直接行って申し込むことになります。団体で込み合っている時は待たなければなりません。時間のある時にご家族で是非見学・体験してみたいかかかでしょうか。

防災・消防担当 桑原洋二郎

コメント

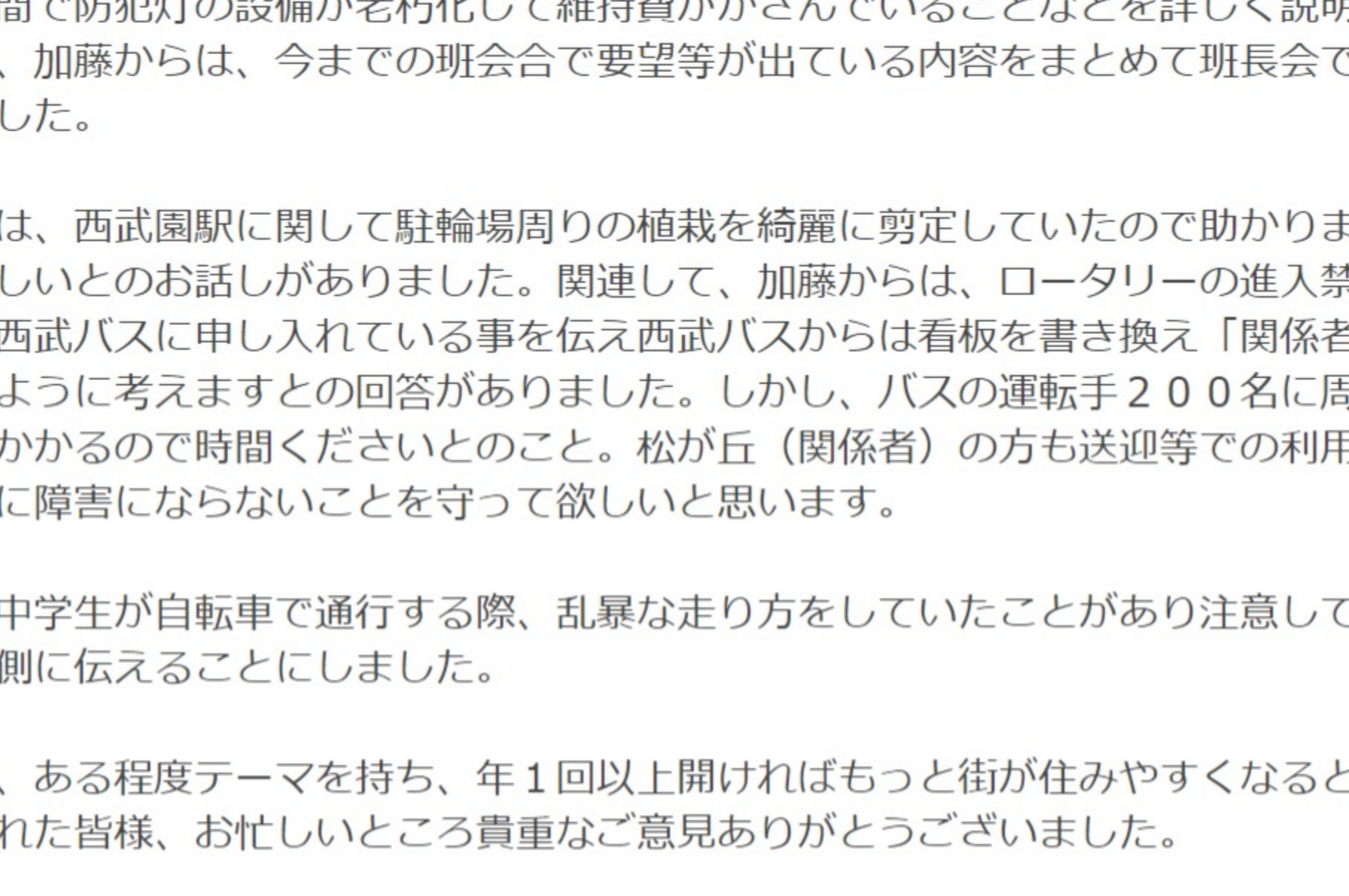
2.自治会実施報告：2-15班と16・17-A班の合同班会合

投稿者：totoro2 投稿日時：2013/02/25 (356 ヒット)

平成25年2月23日(土)13:30~ 西集会所

参加者は16世帯、17名(女性13名、男性4名) 役員は加藤、宮下、白井が出席

この班は、ごみの集積所を一緒に使用している班なので皆さん顔なじみの方が多く最初から和やかな雰囲気が始まりました。



お二人の班長さんからは、「今回の集まって頂いた目的は集団資源回収の具体的な説明です」とお話しがありました。

自己紹介をした後、早速、白井理事から集団資源回収の目的や回収するに当たっての注意点などの話がありました。皆様からその都度色々な質問や疑問などが行き交い、関心を持って頂いていることを感じました。

自治会役員からの報告として宮下理事から、来年度防犯灯のLED化を予定している旨の話があり、30年間で防犯灯の設備が老朽化して維持費がかさんでいることなどを詳しく説明して頂きました。また、加藤からは、今までの班会合で要望等が出ている内容をまとめて班長会で報告することを伝えました。

皆様からは、西武園駅に関して駐輪場周りの植栽を綺麗に剪定していたので助かりました。お礼を伝えて欲しいとお話しがありました。関連して、加藤からは、ロータリーの進入禁止を解除してほしいと西武バスに申し込んでいる事を伝え西武バスからは看板を書き換え「関係者以外進入禁止」にするように考えますとの回答がありました。しかし、バスの運転手200名に周知するのにひと月程度かかるので時間くださいとのこと。松が丘(関係者)の方も送迎等での利用に限るなどバスの運行に障害にならないことを守って欲しいと思います。

その他、中学生が自転車で通行する際、乱暴な走り方をしていたことがあり注意して欲しい。加藤から学校側に伝えることにしました。

班会合は、ある程度テーマを持ち、年1回以上開ければもっと街が住みやすくなると感じました。参加された皆様、お忙しいところ貴重なご意見ありがとうございました。

報告書作成 加藤

コメント

2.自治会実施報告：30-A班の班会合 中央会館ホールにて

投稿者：totoro2 投稿日時：2013/02/24 (323 ヒット)

平成25年2月23日(土)10:00~12:00 中央会館ホール

参加者は5世帯、7名(女性3名、男性4名) 役員は加藤、白井が出席

最初に自己紹介を兼ね、近況を出し合いました。みなさんそれぞれ目標を持ってがんばっている様子が紹介され、参考になることがたくさん話されました。

話し合いの内容をちょっと報告します。
高齢になってきたので、これらの人生設計をどうするか考えるようになった。けがなどで他人に迷惑をかけないよう、植木は高くならないうちに手入れをしている。健康維持のためにしていることは、家の外回りの清掃や植木の手入れを日課にしている。毎日1万歩を目標に散歩に出かける、食事はきちんととる、ぼけないように知識を色々吸収して話すようにしているなどなど。

加藤会長からは自治会が今取り組んでいることなど話していただき、白井理事からは集団資源回収について説明をしていただきました。雑紙、古布などの扱いについて不明な点の質問も出され認識が深まりました。

要望としては、西武園駅の駐輪場の改善、同駅近くに信号機の設置、松が丘西信号機に歩行者用信号機の設置などが出されました。

第1回の班会合は少なめの参加者でしたが、顔を合わせて話し合うことでお互いを知る機会となり、楽しく有意義な集まりでした。

8ブロック 30-A班 班長 廣嶋

コメント